

留学体験レポート

国際学部 2年 渡部慧介

1. はじめに

私は8月22日から12月6日までの間、英語力向上と異文化理解のためにアメリカのセントラル・ミズーリ大学へ留学しました。ここでは、アメリカでの生活、授業、課外活動について紹介したいと思います。

2. アメリカでの生活

アメリカでは学生寮で生活しました。部屋は二人部屋で、二部屋でひとつの洗面所とシャワールームを共有していました。私のルームメイトは現地の学生で、間近で同年代のネイティブスピーカーの英語に触れることができ、貴重な経験をすることができました。食事はほとんど校内の食堂(写真:下)で済ませていました。留学中は、なかなか日本食が食べられなかったのが、恋しかったです。気候は新潟とさほど変わらず、むしろ湿度が低い分、新潟よりも過ごしやすかったです。ただ室内の冷暖房の利きは少し極端で、特に夏は室内にいと常に肌寒いと感じるほどで、半そで一枚で過ごすことはほとんどありませんでした。



3. 授業について

課題が多く、他の学生と協力して行うものも頻繁に出たので、早めに終わらせることを心掛けました。授業に付いていけないことが何度もありましたが、その度に先生や他の

学生に支えてもらいました。分からないことや課題について確認したいことがあったときは、授業中や授業が終わった後に、何度も先生に聞きに行きました。どの先生もいつでも快く丁寧に対応してくれたので、気兼ねなく質問をすることができました。

4. 課外活動について

課外活動は、**English Language Institute** (以下 **ELI**)の先生方が多くの活動を企画し、都合がつく限り参加するようにしていました。カンザスシティに買い物に行ったり、ハロウィンパーティーでカボチャに絵を描いたりしました。映画を観に行ったり、美術館に行ったりすることもありました。**ELI**の先生、学生が多く参加していたので、授業外で交流を深めるいい機会になりました。

5. おわりに

今回のアメリカ留学は、とても実りのあるものでした。英語のリスニングとスピーキングにあれだけ集中しながら生活したのは初めてでした。また、様々な国からやってきた他の **ELI** の学生との交流のなかで、共通言語としての英語のもつ有用性を改めて実感しました。これからの英語学習により一層、力を入れて取り組んでいきたいと思います。最後に、家族や本校の先生、学務課の方々、友人、**ELI**の先生方の支えなしでは、今回の留学を無事に終えることは出来ませんでした。本当にありがとうございました。